

脳内の「視力・聴力」の定量化と医療診断への応用探索研究

高知工科大学 総合研究所 特任講師 姜 銀来

【研究シーズ概要】

現在実施されている視力検査表による視力検査と、オーディオメーターによる聴力の検査は、目と耳がセンサーとして機能しているか否かを測定するものである。

一方、本研究では、脳内における視覚情報、聴覚情報の理解能力の測定法を開発し、大規模的試験を行っていた結果として、加齢との相関、無症候白質病変群との相関について判ってきた。今後、高次脳機能の標準的検査法として確立し、更にモバイル・デバイスに実装して何時でも何処でもリハビリを実行できるシステムを開発する。

